

学校目標・経営方針	自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをします。	
本年度の重点目標	1 学ぶ楽しさ・わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 社会性を身につけ、自立と自律を目指す	B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ	C 不十分である。(4割以上)
		D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			年度末評価(2月5日現在)		
番号	評価項目	本年度の重点目標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	学ぶ楽しさ・わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける	<p>「わかった!」「楽しい!」「なぜ?どうして?」、「自分だったら」の学びを大切に、少人数授業の中でも協働的な活動を活用して、個に応じた力を伸ばす</p> <p>「基礎・基本の定着と学びに向かう力」「多面的・多角的に考える力」「本質的な問いかけ」</p> <p>・相互授業参観や授業アンケート結果を活用し、教員の資質・能力を向上させる 「ファシリテーターとしての授業改善」「ICTを利活用した授業実践」</p>	<p>・生徒によるアンケート結果「楽しい、わかったと思える授業がある」89%、「学校が楽しい」81%と昨年度から増加し、相互授業参観、中間評価の活用を始めとする先生方の授業改善が活かされている。</p> <p>・保護者によるアンケート結果「生徒は授業がわかりやすいと言っている」81%と生徒アンケートの結果と乖離があるが、「学校での活動を通して、生徒の成長を感じる」が94%で概ね評価できる。</p> <p>・教職員によるアンケート結果「挨拶をきっかけとした教師と生徒の信頼関係づくりをしている」98%、「主体的・協働的な学びなどを取り入れて、自ら学び自ら考える力(自己の在り方、生き方)を育成している」89%と生徒に寄り添い、個々の生徒に対応した教育活動が行われている。</p>	B	<p>・人前で発言することや自分の意見を発表することが苦手な生徒がいる中、端末を使った解答の提出やグループワーク・ペアワークを取り入れた少人数の授業形態で、「楽しい、わかった、私でもできる」といった実感を獲得している。しかし、家庭環境やアルバイトなど就業している生徒が多く、家庭学習に要する時間は少なく、学習の定着についてはまだ課題がある。</p> <p>・少人数の授業形態を通して、教職員のファシリテーションスキル向上し、「認める・引き出す・まとめる」においては効果を上げているが、多様な生徒が在籍する本校では、情報共有や外部機関との連携推進が一層必要である。</p> <p>・ICTの利活用など、教員の授業改善は進んでいる。今年度もICT支援員の協力を得て、各種講習会を開催した。また、新システムに以降初年度であるため、ICT係からの情報提供などを積極的に行い教職員のICT利活用の向上を図った。今後も継続して行く。</p>
2	社会性を身につけ、自立と自律を目指す	<p>「種まき・芽生え・成長」という意識で、生徒一人ひとりの発達段階に応じたサポートの実践</p> <p>「総合的な探究の時間」での「山梨を知る」探究活動や満足を通して、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育む</p> <p>・ソーシャルスキルトレーニングや通級による指導を通して、他者との関係をよりよく築く</p>	<p>・生徒によるアンケート結果から「私は、学校生活を通して、CHUOハーモニックプランの目標「私もやればできるかも」「私には価値があるかも」といった自信が以前より持てるようになっている」88%、「学校では、清掃活動や環境美化が積極的に行われている」91%、「私にとってTHE ENSOKUは、山梨の歴史や文化が知れ、仲間と交流を深める機会になっている」95%であり、社会性を身につけ、自立、自律の精神は醸成されていることが伺える。</p> <p>・保護者のアンケート結果では「本校の特色ある取り組みである「CHUOハーモニックプランを知っている」と答えた保護者は昨年度より増加し87%、「学校での活動を通して、生徒が前向きに取り組んでいる」90%と高評価であった。</p> <p>・教職員によるアンケート結果「校外学習が計画的に実施され、生徒の豊かな心の育成や社会性育成に役立てられる」96%、「個別の教育支援計画に基づいた支援や社会性の育成(SST)に努めている」98%であり、地域愛や地域貢献の育成、他者との関係をよりよく築くを育む機会を創出していることが伺える。</p>	B	<p>・「種まき・芽生え・成長」を目的としたCHUOハーモニックプランに対しては、生徒・保護者・教職員からも各項目で85%以上の評価を得て概ね目標を達成できた。今後も校内での情報共有と外部連携も含め最適な生徒支援を行っていく。</p> <p>・今年度も学園祭で実施した、シェアプロジェクト、フードバンクへの協力などの活動を通し、自己肯定感を高めていく活動を継続していく。</p> <p>・「THE ENSOKU」の事前指導や「総合的な探究の時間」で、新規開拓を含め地域で活躍している講師を招聘し、山梨や地域の伝統・文化・産業について体験学習する機会を多く設定した。次年度以降も地域理解、地域貢献、郷土を愛する心を育んでいきたい。</p> <p>・多様な環境の生徒に対応するため生徒指導支援会議、通級委員会、ケース会議等を開催し、全職員での情報共有と必要な支援策、生徒対応を行った。またS Wや市町村の関係機関などの外部機関と連携を行った。今後も生徒個々の状況、家庭環境に応じて外部機関との連携を含めて最適な支援を継続していく。</p> <p>・「通級による指導」では、今年度から分掌を中心に新たな取り組みを含めた支援体制を構築している。</p>
3	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ	<p>「授業や行事の中での「命を守る、命を大切に」学習を通して、多様化する社会の中で自立して生き抜く力を高める</p> <p>「自らの生き方や在り方」を深める生活体験発表や、面接指導など実践的な進路学習を通して、社会的・職業的自立を目指す</p> <p>・3部制のため、各種行事等の実施に伴い適切な勤務の割り振りをその都度行い、職員の内身における健康づくりの推進を行う</p>	<p>・生徒によるアンケート結果から「自分の在り方、生き方を考える機会がある」86%、「自分の考え方・見方が変わった」広がった90%と昨年度より大幅に増加した。また「学校は、地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればいいのかわかる訓練を実施している」「学校は、進路意識を高めるために、講演会、インターシップ、課外講座等の行事を適切に行っている」98%と高評価であった。</p> <p>・保護者によるアンケート結果「ホームページ・teams・BLENDにより、台風や大雪などの災害に関する情報を、生徒や保護者向けに提供し、災害への対策を講じている」99%と高評価であった。</p> <p>・教職員によるアンケート結果「生活体験文を通して、自己の在り方・生き方考え、自尊感情や自立意識の向上の場となっている」96%が肯定的な意見であった。</p> <p>・教職員の健康管理は、健康診断や巡回健康相談、ストレスチェックの実施等、健康管理に関する情報提供を行った。3部制のため、適切な勤務の割り振りを行った</p>	A	<p>・総合的な探究の時間での「命の授業」「ストレスマネジメント」の講演、各教科で、命の大切さ、自他を認め合う学習活動を行った。</p> <p>・避難防災訓練を通して、地震・火災・水害から自分の身を守ること、避難場所等で地域のリーダーとして活動できる資質の育成に取り組んだ。</p> <p>・自衛隊員を招いて、学校行事としての防災講話や保健の授業でハザードマップの確認や緊急措置法を学んだ。今後も継続して行きたい。</p> <p>・生活体験文は生徒にとって、「生き方・在り方」を振り返り、深める良い機会となっている。今後も生活体験文の作成と発表を通して、生徒の成長を支援していく。また今年度、出場生徒の指導について、担当者の明確な役割分担を明示した。</p> <p>・教職員が心身の悩みを気軽に相談できる体制の構築を継続し、生き生きと働ける職場環境づくりを継続していく。</p>

学校関係者評価	
実施日(令和8年2月下旬)	
評価	意見・要望等
4	<p>・アンケート結果の肯定的回答が8割以上という結果は、小中学校での学びや学校生活に対する苦手意識が克服しつつあると推測できる。生徒一人一人の背景や状況を把握し、信頼関係を築くことを大切にしていること、各教師がファシリテーションスキルを高め工夫した授業を展開していることが浸透しているからだと思う。今後は日々進化しているICTを効果的に活用して、生徒のニーズに合った教材開発を期待している。</p> <p>・さまざまな工夫をして、学ぶ楽しさやわかる喜びが得られる授業にしていることがわかりました。常に工夫や改善が必要で、正解のない取組かもしれないが、家庭環境や過去の学習環境など様々な背景をもつ生徒の状況を把握し、それぞれに応じた授業の工夫を継続して行って欲しい。</p> <p>・自分の考えを発言することは社会生活において重要なスキルとなることは間違いないが、学校生活でコロナ禍を経験してきた現在の高校生は、本来の学びが十分ではない可能性が高い。アウトプットの場面もICTでの共有やペアやグループ内での発表など引き続き無理のない方法を選択して欲しい。</p> <p>・様々な課題を抱える生徒に対して、学習指導を行うことは大変だと思う。生徒アンケートでは高評価になっており成果は上がっていると考えられる。</p> <p>・先生方の努力が伝わり、頭が下がる思い。先生方のファシリテーターとしてのスキル向上は当然重要だが、自分の在り方に対して自分で問い続けることができるようになる為には、先生方に引き出していただくとどまらず自ら質問する訓練を少しずつでも続けていただけたらより良くなるのではないかと。</p> <p>・生活の一部である学校での活動が生徒自身から、アンケートでも高い評価を得ている。また、生徒が学校生活を充実したものとし、成長していることを保護者が感じていることから、今後も引き続き取り組みを進めていただきたい。</p> <p>・楽しい、わかったと思える授業が89%という評価は中央高校の何よりの強みではないか。さまざまな課題への対応が求められている学校ではあるが、何より第一の目的は学習だと思う。生徒がこのように評価していること以上に素晴らしいことはない。</p>
4	<p>・学びなおし、やりなおしに焦点を当て、生徒の自尊感情を醸成し、社会に存在してもいいと思えることを目標としたCHUOハーモニックプランが各教育活動に組み込まれていると思う。「種まき・芽生え・成長」のタイミングは各々にあるので、生徒一人一人をよく見とり、ある時は待ちの姿勢で、ある時は背中を押すなど、職人技のご支援を引き続きお願いしたい。</p> <p>・「CHUOハーモニックプラン」は、中央高校をアピールする最高の取組だと思う。同じ取組をするとしても、常に工夫改善を繰り返す、組織的な活動にして欲しい。全教職員が同じ方向を向いて取り組むことが、活動をより良くしたり継続し続けたりする上で大事になるので、先生方にとっても新鮮な取組となることを期待しています。</p> <p>・さまざまな機会をともし、社会性を身につけたり、自立・自律の精神を醸成したりする取組がなされていることがわかった。学習に関してだけでなく、生活力の向上も含めての「わかった」「できた」が、個々の自己肯定感・自己有用感につながるのだと感じた。</p> <p>・地域理解、地域貢献、郷土を愛する心を地域での活動を通して、継続的に行っていたことは地域と学校との関係性も良好に保たれ、生徒のより良い環境づくりとなるのではと考える。ぜひ今後も続けていただきたい。</p> <p>・多様な生徒が在籍する中、他者との関わり方など、社会性の育成に取り組むなど、ご尽力されていると感じた。</p> <p>・CHUOハーモニックプランに基づき、社会で生きていく力を身に付けた生徒の育成を進められていると感じた。</p>
4	<p>・自分の振り返り項目は、他人との比較ではなく、自分自身が入学から卒業までどのように推移するのか、見ていくといいと思った。また「自信」はなかなか持てると言い切れるものでもないので、CHUOハーモニックプランの「自ら尊ぶ」を意識して「以前より自分のことを大切に思えるようになった」という質問でも良いかと思う。</p> <p>・高校生にとって進路選択は大事な岐路になります。いろいろな選択肢があることを伝えながら、計画的な進路指導をお願いしたい。</p> <p>・進路指導は、卒業生や地域で働いている方、大学や短大、専門学校、高専の学生など外部の方の協力も有効だと感じた。</p> <p>・生徒、教職員の身体的及び精神的な健康がいかに互いの成長に影響するかについて考えさせられた。</p> <p>・自分を大切にすること、同じように他者を大切にすることや、今後の社会生活に活かせるような、様々な経験を積ませる機会は、とても大切だと思う。</p> <p>・総合的な探究や防災訓練は、高校生活の中では、とても大切な事だと思う。特に自分の在り方、命の大切さは社会人になっても必要だと思うので今後も続けていただきたい。</p>

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。